



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

浮世絵入門

江戸の幸福
日本の宝

10月4日・11日・25日(土)

午後2時～4時 参加費: 500円(材料費)

対象・定員: 市内在住・在勤・在学者 高校生以上 20名

第1～2回 10/4、11(土) 講義

山本 野理子 氏

(川崎浮世絵ギャラリー学芸員、
芸術学博士、国際浮世絵学会会員)



第3回 10/25(土) 摺りの実演・体験

鉄井 裕和 氏

(鉄井木版画工房・摺師、伝統工芸士、
浮世絵木版画彫摺技術保存協会理事)



戸 田 市 民 大 学

講 座 全 3 回

会場・申込・問合せ: 戸田市立美笹公民館 (西部福祉センター)

戸田市美女木5-2-16 TEL 048-421-3024 FAX 048-421-3060 e-mail: misasa-kouminkan@city.toda.saitama.jp

講座受講者募集 HPアドレス: <https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/375/kyo-syogaigaku-misasa-kouza708.html>

申込受付開始: 9月5日(金) 午前10時から 申込方法: HPフォーム、電話、窓口

日本が誇る芸術「浮世絵」は、江戸時代の庶民が楽しんだ身近な文化であり、自然、粹な人物、人情、ユーモアなど当時の人々の浮世を楽しむ気概が強く感じられます。木版画による一枚絵の浮世絵は、企画・製作・販売を担う版元のもと、浮世絵師が下絵を描き、彫師が版木を彫り、摺師が紙に摺って完成します。

(第1～2回) 浮世絵のはじまりから、技法やジャンル(美人画、武者絵、役者絵、名所絵など)について解説し、浮世絵師については、話題の版元・蔦屋重三郎がプロデュースした喜多川歌麿、葛飾北斎、東洲斎写楽だけでなく、浮世絵の創始者・菱川師宣から最後の浮世絵師・小林清親まで幅広く紹介し、浮世絵の奥深い魅力に触れていただきます。(第3回) 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の版木で実演します。版木の上に絵具を刷毛で広げ、絵柄がずれないように見当(版木上に彫られた溝)に紙を置き、何度も色を摺り重ねて作品を完成させる「摺師」の高度な技を見ていただき、小型の版木での摺り体験をしていただきます。

申込はこちらから

